

## 平成23年度新規研究委員会の企画案の募集

平成23年6月22日

日本地震工学会・研究統括委員会

委員長 若松 加寿江

日本地震工学会が創立10周年を迎えた本年3月に、東日本大震災が発生いたしました。犠牲となられた方々および被災された方々に衷心よりお悔やみとお見舞いを申しあげます。

地震工学および地震防災に関する学術・技術の進歩発展をはかり、もって地震災害の軽減に貢献することを目的とする日本地震工学会にとって、この地震による教訓を最大限くみ取り、これを将来の地震災害の軽減、防除に役立てることが、私たち地震工学に関わる研究者・技術者に課せられた使命だと考えます。

研究統括委員会では、本年度第1回目の新規研究委員会の企画案を公募いたします。地震災害の防除を通じて社会に貢献できる有意義な企画を奮ってご提案下さいますようお願い申し上げます。若手の皆様からのご提案を特に歓迎いたします。

### ◇ご提案いただく内容（形式は自由）

1. 研究の題目
2. 研究の内容（400字程度）
3. 委員長候補案
4. 提案者のお名前、ご所属と連絡先（電話番号とメールアドレス）
5. 提出先・問い合わせ先：日本地震工学会・事務局

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館内

電話 03-5730-2831 Fax 03-5730-2830

電子メールoffice@general.jaee.gr.jp

### ◇公募提案者の資格・提案の締め切り

1. 日本地震工学会の会員
2. 締め切り：平成23年7月31日（日）

### ◇研究委員会に関する運営の方針

- 1) 委員会の活動期間：平成23年度承認後、3年間以内
- 2) 研究委員会活動費として、1委員会あたり20万円（H23年度分）を配分する。活動を積極的に展開するための増額要求があった場合には、研究統括委員会で審査し若干の増額配分を認めることがある。
- 3) 委員会開催のための国内の旅費については研究委員会の裁量で委員会活動費から支給することを認める。
- 4) 日本地震工学会会員への委員会成果の普及を図ることとする。委員会終了後は、報告書を作成し日本地震工学会のウェブサイトで公開すると共に、講習会・講演会などを開催する。